

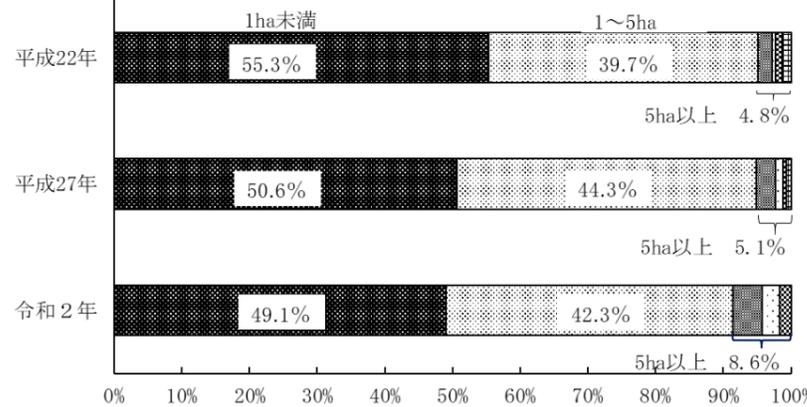
南信州地域の農業生産構造の変化について

1 農業経営体数(南信州地域：14市町村)

区分	農業経営体			農業経営体当たりの経営耕地面積(ha)
	個人経営体	団体経営体	法人経営体	
平成22年	6,546	128	102	0.78
平成27年	5,721	131	113	0.82
令和2年	4,620	126	112	0.83
増減率(%)				
H27/H22	△ 12.6	△ 2.3	10.8	5.1
R2/H27	△ 19.2	△ 3.8	△ 0.9	0.6

農業経営体数は、この5年間で19.2%減少し、4,620経営体となっています。また、農業経営体当たりの経営耕地面積は、この5年間で変化はありません。しかし、経営耕地規模別に集積の状況をみると、5ha以上の農業経営体が5年前に比べると3.5ポイント上昇し、担い手への農地の集積が進んでいます。

経営耕地面積規模別面積割合



【農業経営体】
いずれかに該当する事業を行う者
(1)経営耕地面積が30a以上
(2)基準以上の作付面積・飼養頭羽数
(3)農作業の受託

【経営耕地】
農業経営体が経営している耕地をいい、自作地と借入耕地の合計

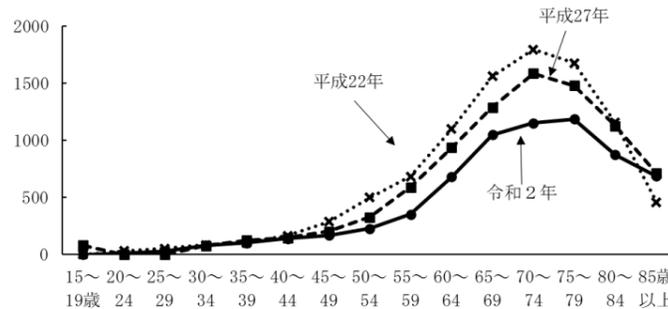
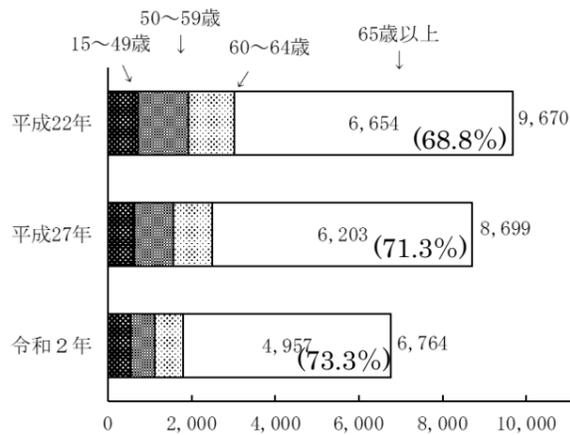
出典：農林業センサス

2 基幹的農業従事者(南信州地域：14市町村)

(単位：人)

区分	計	15~49歳	50~59歳	60~64歳	65歳以上
平成22年	9,670	730	1,186	1,100	6,654
平成27年	8,699	638	920	938	6,203
令和2年	6,764	541	584	682	4,957

農業経営体のうち個人経営体の基幹的農業従事者は、5年前に比べ22.2%減少し、6,764人です。年齢階層別に基幹的農業従事者の推移をみると、5年前に比べ、85歳未満の全ての階層で減少しました。また、基幹的農業従事者の73%を65歳以上が占める現状です。



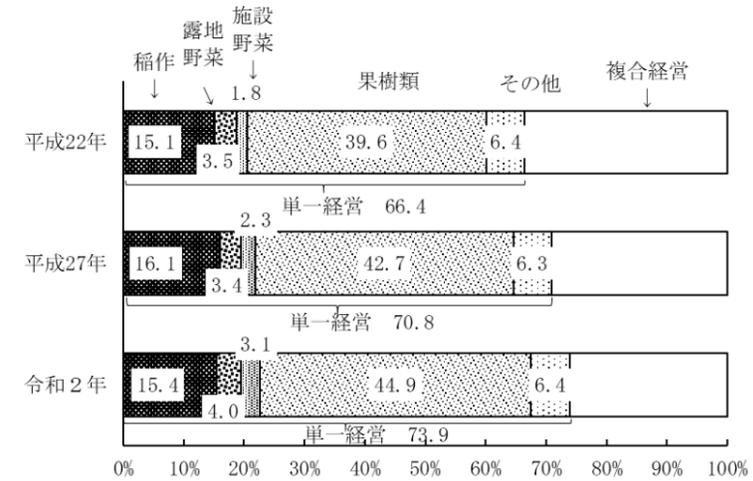
【基幹的農業従事者】

自営農業に主として従事した世帯員のうち、ふだん仕事として主に自営農業に従事している者
出典：農林業センサス (R2：個人経営体、H22・H27：販売農家)

3 作目別農業経営体数(南信州地域：14市町村)

区分	計	稲作	露地野菜	施設野菜	果樹類	その他	複合経営
平成22年	6,047	914	214	111	2,394	384	2,030
平成27年	5,342	859	184	122	2,282	337	1,558
令和2年	4,389	678	176	137	1,971	281	1,146

作目別農業経営体の構成割合



令和2年度の作物別農業経営体数(単一経営)の構成割合をみると、果樹類が44.9%と他の品目と比較して最も割合が高く、半分近くを占めます。

また、5年前に比べて、果樹類経営体が2.2ポイント、施設野菜が0.8ポイント上昇しました。

【単一経営】
農産物販売金額のうち、首位部門の販売金額が8割以上の経営体

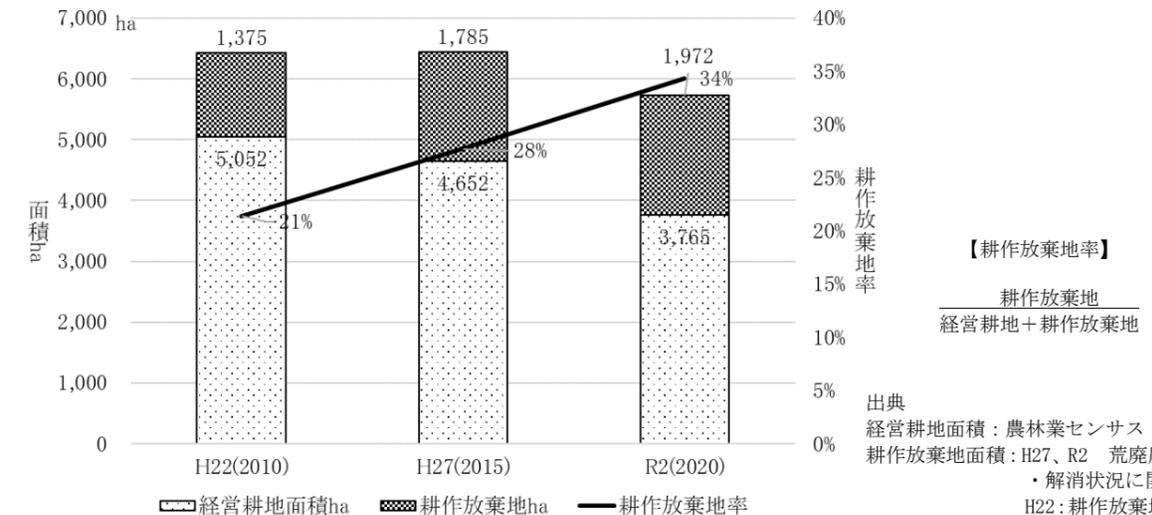
【複合経営】
単一経営以外

出典：農林業センサス

4 耕地面積(南信州地域：14市町村)

区分	経営耕地面積ha	耕作放棄地ha	耕作放棄地率
平成22年	5,052	1,375	21%
平成27年	4,652	1,785	28%
令和2年	3,765	1,972	34%

経営耕地面積は、年々減少し、令和2年度3,765haです。一方、経営耕地に含まれない耕作放棄地は年々増加し、1,972ha、放棄地率は34%です。



【耕作放棄地率】

耕作放棄地 / (経営耕地 + 耕作放棄地)

出典
経営耕地面積：農林業センサス
耕作放棄地面積：H27、R2 荒廃農地の発生・解消状況に関する調査
H22：耕作放棄地全体調査